

2021（令和3）年度
一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会
定時社員総会 議案書

1. 開会

2. 会長挨拶

3. 議長選出

4. 書記、議事録署名人選出

5. 資格審査

6. 議 事

第1号議案 2020年度事業報告及び2020年度収支決算報告に関する件

第2号議案 2021年度及び2022年度役員選任に関する件

報告事項1 2021年度事業計画及び収支予算に関する件

報告事項2 2020年度公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告
及び2021年度支部活動予定

7. 議長解任

8. 連絡事項

9. 閉会

議 事

【第1号議案】2020年度事業報告及び収支決算報告に関する件

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 2020年度事業報告 (自：2020年4月1日 至：2021年3月31日)

定款第3条の目的を達成するため、定款第4条に基づき、次の事業に取り組んだ。

I 2020年度活動指針

1. 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会活動指針

- (1) 社会的責務を果たすことのできる人材育成を行い、会員の資質の向上を図る
- (2) 精神障害者の社会的復権をめざし、誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる
- (3) 県民のこころの健康の増進を図る

2. 2020年度 重点課題と振り返り

(年度総括)

今年度はコロナ禍により予定していた事業の実施ができなかったことにより、研鑽や会員同士繋がる機会を十分提供することができなかった。一方、新たな方式に対応した事業実施を模索したことは、今後の様々な方法での取組を検討するよい機会と評価できる。

(1) 人材育成

- ①人材育成の中核機能である研修体制について、より効果的、効率的に実施できる体制を再構築する。

(振り返り)

- ・コロナ禍により会議、研修を参集形式で行うことができなかった。
- ・配信研修の作成は、それにかかわった者の協会活動への参画、人材育成の機会にもなった。
- ・参集形式以外の研修実施(配信形式等)は、これまで参加できなかった会員の研修機会の保障となった。
- ・配信研修を実施する体制整備は図られたが、研修体系・研修体制の再構築については十分な検討ができなかった。

(2) 政策提言

- ①分野ごとのワーキンググループを設置し、県及び政令市等に対し適時適切に施策提言を行う。

(振り返り)

- ・精神障害者雇用推進アドバイザー事業、静岡県自立支援協議会地域移行定着部会へ参画し職能団体としての発信に努めた。
- ・各種会議等に委員を派遣し、様々な分野領域に参画することで協会としての使命を果たすことに努めた。

- ②日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力する。

(振り返り)

- ・日本精神保健福祉士協会からの呼びかけに応じ、新生存権裁判を傍聴した。

(3) 組織体制の強化

- ①「研鑽」「ネットワーク」「意見集約」を目的としたブロック活動に対し、ブロック協力員の役割の明確化を図り、各ブロックが地域性を活かしながら、効果的に機能するよう推進する。

(振り返り)

- ・コロナ禍で参集しての会議、研修等が実施できなかったが、「新しい生活様式」に対応したWEB形式での会議、研修を実施した。

- ・受託事業の円滑化を図ることを通して、各ブロックの全県ネットワーク形成につながった。
- ②法人運営の安定化を図るため、事務局機能の強化及び収支バランスの適正化を目指す。
- (振り返り)
- ・事務局員の雇用によって、週3日開局の担保することができた。
 - ・税理士事務所との契約により、法人の税務・会計業務の適正化を図ることができた。
- ③日本精神保健福祉士協会との連携を一層強化し、2024年日本協会と県協会の入会を一本化とする。
- (振り返り)
- ・入会促進の活動に取り組む機会が少なかったため、次年度の課題として継続する。

(4) 情報発信

- ①つうしん、ホームページ、SNS等の情報媒体の活用を検証し、当協会への理解促進及び会員への情報提供等の充実を目指す。
- (振り返り)
- ・情報媒体を活用しての発信を行う体制が徐々に整備されてきたが、ニーズに対応できる体制の検討を継続的に行うことができた。

II 事業報告

1. 定時社員総会

- ・会員数488名のうち出席者21名、委任状274名の合計295名で総会成立
(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小しての開催。理事、監事、議長、書記、議事録署名人、委員等出席依頼された参加者のみ出席)

日程	2020年6月28日(日)	場所	グランシップ910
内容	2019年度静岡県精神保健福祉士協会事業報告及び収支決算に関する件 2019年度事業報告及び収支決算報告に関する件、2020年度事業計画に関する件 2020年度収支予算に関する件、公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告		
議事内容	<ul style="list-style-type: none"> ○【報告事項1】2019年度静岡県精神保健福祉士協会 事業報告及び決算報告(法人化前) <ul style="list-style-type: none"> ・菅原副会長より報告。質疑等特になし ○【第1号議案】2019年度事業報告に関する件 <ul style="list-style-type: none"> ・議長より定款41条により事業報告は総会に報告となる規定であることの確認あり ・澤野会長より事業報告の内容は先の理事会で承認済みであると報告 ・菅原副会長より報告。質疑等特になし ○【第2号議案】2019年度収支決算報告に関する件 <ul style="list-style-type: none"> ・平野理事より報告。質疑等特になし ・三谷監事より会計監査報告、収支決算は問題なかった旨の報告 ・三谷監事より、以下の点について話あり ①法人化に伴い今一度整理する内容があったように思う(チェック機能、会費回収について、ウェブの活用に伴う書式を統一するなど) ②監事も事前の理事会に参加し課題の共有等しておくほうが良かったのではないか ③会員の半数以上が女性であるため、女性が参加しやすいような検討が必要と考える <ul style="list-style-type: none"> ・澤野会長より、会計監査報告書類は次の発送物に添付するよう対応する旨の報告あり ・第2号議案のみ採決。賛成多数により承認 ○【第3号議案】2020年度事業計画に関する件 		

	<ul style="list-style-type: none"> ・議長より定款 40 条により事業計画、収支予算は総会に報告となる規定であることの確認あり ・澤野会長より事業計画、収支予算ともに先の理事会で承認済みであるとの報告 ・澤野会長より報告 ・新型コロナウイルス拡散防止の観点より、上期の事業は計画せず、下期において実施できる内容に集約する予定である旨と、会議は基本 WEB 会議を活用する旨報告あり ・メール、メーリングリスト、ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等、活用できる媒体を整え、協会の情報発信と意見集約の体制を整える検討をしていること、Facebook は既に立ち上がっていること等報告あり ・会費納入方法の変更について、2022 年度より会費の納入方法を原則銀行引き落としとする旨の報告あり。 今後の進め方として、2020 年度より銀行引き落としの書類を会員に配布し、2021 年度から引き落としを開始、2024 年度までに手続きを終了し、2025 年度から全会員、会費は銀行引き落としとすることが報告された。 また、移行期間である今年度より、会費納入は全て銀行振り込みとし、手渡しでの会費納入は行わないこととする旨も報告あり ・質疑等特になし <p>○【第 4 号議案】2020 年度収支予算に関する件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平野理事より報告 ・収入部分について合計金額の誤りがあるとの指摘あり ・会長より、収入を訂正して再度検討、後日報告する旨報告 ・その他質疑等なし。賛成多数で可決 <p>○【報告事項 2】公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村理事（前代議員）より報告。質疑等特になし
--	---

2. 理事会、委員会

(1) 理事会（全 8 回）、三役会（全 10 回） WEB を活用して会議を実施した。

理事会	会員の状況確認、発送物の確認と検討、日本協会関係の確認・必要事項の検討 研修関連の確認・検討、後援・派遣の確認と検討、ブロック活動の確認 県内の状況確認・情報共有と協会としての課題・取り組みの検討 他
三役会議	理事会での協議事項検討、協会運営方針の検討 他

(2) 部・委員会・ワーキング（一部再掲）

部・委員会		活動内容	
事務局 (理事会)	総務	会員管理、会計業務、委託事業に係る事務処理	
	広報	つうしん	「(一社) 静岡 PSW つうしん」発行（2 回） 紙媒体以外での発行についての検討
		ホーム ページ等	ホームページ及び Facebook の管理と情報更新、外部業者との折衝等、会員への情報発信体制の検討
		PSW 研究	機関誌「静岡 PSW 研究」編集作業、発刊準備
災害対策	災害支援に関する協会体勢の検討、日本精神保健福祉士協会主催会議への参加		
人材育成部	研修プロジェクト	研修実施体制の検討（会議 2 回／対面・WEB）	

	S V委員会(理事会)	スーパービジョン体制の整備・検討
地域体制整備部	地域移行ワーキング	ワーキングを立ち上げに向けた準備、検討、配信研修の実施
	相談ワーキング	ワーキングを立ち上げに向けた準備、検討
	医療ワーキング	ミーティングの実施、課題整理（1回/WEB）
	就労ワーキング	受託事業からの課題・意見集約
組織強化部	ブロック	ブロック活動の企画・実施（詳細は下記にて報告）
	関係団体連携	ソーシャルワーカー3団体連絡会議への参加、実践研究学会の企画実施、SW デイに係る発信の企画・実施
権利擁護部	成年後見ワーキング	日本精神保健福祉士協会「クローバー」等、関係団体との連携、会議への参画、研修講師の派遣

※必要に応じ課題に対してワーキング、プロジェクト等を適宜設置する

(3) ブロック活動（日程未定）

ブロック	活動内容
東部	<ul style="list-style-type: none"> 協力員会議（10回/オンライン会議） 事例検討会（6回/オンライン/協力員で試行開催） ブロック研修「ケースワークの支援過程・思考過程を学ぶ」 日時：2021年3月14日 オンライン開催 参加者：22名 講師：澤野文彦（沼津中央病院） ファシリテーター：山口雅弘（鷹岡病院）
中部	<ul style="list-style-type: none"> 静岡・志太榛原両地区において協力員会議の開催 静岡地区（1回/オンライン会議）、志太榛原地区（2回 勉強会の企画） メーリングリスト、WEB環境等に関するアンケートの実施（静岡地区）
西部	<ul style="list-style-type: none"> 中東遠地区 協力員会議（2回/オンライン会議） しゃべくり中東遠 日時：2020年12月15日 オンライン開催 参加者：15名 話題提供者：大河原豊春氏（御前崎市役所） 樽松初美（菊川市役所） 河上高史（株式会社ロト） 鈴木康成氏（クレール合同会社）
	<ul style="list-style-type: none"> 浜松地区はコロナ禍で活動を縮小し、協力員のみ2回WEBで近況報告を実施

3. 研修事業

(1) 初任者研修会・基幹研修 I

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

(2) 配信研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参集しての研修は実施せず配信研修を実施した。

配信月	テーマ	主な講師
11月	「会長あいさつ（今年度の研修について）」	会長 澤野文彦（沼津中央病院）
	「地域移行導入版 ～精神保健福祉士のやりがい～」	地域移行 WG メンバー

	「地域移行 Vol.1 1 ～相談支援の理解～」	地域移行 WG 安達万里子 (NPO ころろ)
1 2 月	「地域移行 Vol.1.2 地域移行支援導入まで ～精神保健福祉士の戦略～」	地域移行 WG 栗原幹生 (藤枝駿府病院)
1 月	「地域移行 Vol.1.3 地域移行支援導入後 ～それぞれの役割、重層的な展開～」	地域移行 WG 上西雅子 (NPO ころろ)
	「地域移行 Vol.1.4 チーム支援 ～新しい仲間、ピアサポーターと一緒に～」	地域移行 WG 坪井明日香 (NPO ころろ)
2 月	「権利擁護① 県協会の取り組み～成年後見 WG 活動報告～」	権利擁護 WG 山口雅弘 (鷹岡病院)
	「権利擁護② 成年後見とは～精神保健福祉士の視点から～」	権利擁護 WG 山口雅弘 (鷹岡病院)
3 月	「精神障がいのある方の就労について」	就労 WG 海野洋一郎 (みどりの樹) 渡邊里佳 (NPO ころろ)
	「県 PSW 協会の活動報告」	副会長 川嶋章記 (だんだん)

(3) 静岡県ソーシャルワーク関係団体実践研究学会

日 程	2021 年 2 月 6 日 (土)	場 所	オンライン開催
内 容	実践研究発表		
当協会会員 発表	「退院・生活支援の「ぶつ切り」、「滞り」が発生しない仕組みづくり」 発表者：小山隆太 (鷹岡病院)		

4. 出版・広報に係る事業

(1) 静岡 P S W 研究

N o 32 編集作業。年度内の発刊に至らず、次年度に持ち越しとなった。

(2) 静岡 P S W つうしん

年 2 回発行。協会活動が少なかつたため、予定を減らしての発行とした。

(3) リーフレットの改訂

リーフレット改訂に向けての検討をおこなった。

(4) ホームページ管理

ホームページは外部業者と管理契約を結び、更新等の作業を一部委託、更新作業は協会担当者と業者で分担して行った。また、今後リニューアルするために必要な検討を行った。

Facebook は随時更新、情報発信を行った。

5. 関係機関、関係団体との連携及び社会活動の実践

(1) 精神保健福祉士を養成する大学等との情報交換及び連携

県内養成校との連絡会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした

(2) 各種機関・団体との情報交換及び連携

① ソーシャルワーク関係団体との連携

i) 会議

内容	日時または回数	参加者
静岡県ソーシャルワーク関係団体連絡協議会	3回	前林勝弥、田中幸子

ii) その他

- ・実践研究学会（再掲）
- ・SWデイ

新型コロナウイルス感染拡大防止のためイベントは中止とし、共同宣言の発信を行った

②行政政策機関等との連携、意見交換、会議への参画

内容	日時または回数	参加者
静岡県自立支援協議会地域移行・定着部会	2回	澤野文彦
静岡県自立支援協議会地域移行・定着部会 ワーキング（研修／ピア）	各3回	澤野文彦、菅原小夜子、山口雅弘 鈴木伸二
静岡県自立支援協議会地域移行・定着部会事務局会議	3回	澤野文彦、菅原小夜子、山口雅弘
静岡県自殺対策連絡協議会	2021年3月24日	澤野文彦
静岡県人権会議	2回	澤野文彦
牧之原市個別支援部会	2020年5月19日	山口雅弘
地域包括ケア推進ネットワーク会議	2020年12月22日 2021年3月16日	中村倫也 澤野文彦
三島市成年後見制度利用促進連携協議会	2021年2月16日	澤野文彦

③研修等への参画、運営協力等

- ・令和2年度静岡県ピア交流会

日 時：2020年10月4日 会 場：静岡県庁 派遣者：山口雅弘

- ・障害者ピアサポーター研修を担う講師・ファシリテーター養成研修会

（令和2年度厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）障害者政策総合研究事業障害者ピアサポートの専門性を高めるための研修に係る講師を担える人材の養成及び普及のための研究）

日 時：2021年2月27日～28日 会 場：特定非営利活動法人こころ 島事業所

派遣者：山口雅弘、鈴木伸二

(3) 講師の派遣等

研修名	日時	派遣者
2市2町市民後見人養成講座	2020年10月30日	鈴木伸二
精神科訪問看護研修	2020年7月11日	山口雅弘
成年後見理解促進研修会（基礎編／応用編）	2020年11月20日 11月27日	山口雅弘
成年後見理解促進研修会（出前講座）	2021年1月27日	山口雅弘

(4) 事業の受託・事業への協力

①精神障害者雇用推進アドバイザー事業

i) アドバイザーの派遣

ブロック	氏 名	所 属
東部	青木 大輔	田方・ゆめワーク

	佐久間美希	田方・ゆめワーク
	平井 智未	沼津中央病院
	杉山 智子	就労支援事業所かのん
	渡邊 修宏	就労支援事業所かのん
	鈴木 伸二	サポートセンターなかせ
	長谷川真美	サポートセンターほっと
	田尻 ゆき	サポートセンターほっと
	望月 典子	サポートセンターほっと
	新田 怜小	サポートセンターほっと
	小山 隆太	鷹岡病院
大谷 法和	伊豆函南病院	
中部	渡邊 里佳	こむぎ
	岩本有喜子	さがら作業所
	小柳 保徳	ワークステップ With
	田中 幸子	グリーンワークス・リラ
	平野 真子	静岡県立こころの医療センター
西部	金田 祥史	だんだん
	海野洋一郎	社会福祉法人みどりの樹
	鈴木 華紀	Mネット東遠
	沢居なおみ	さわや家
	平野慎一朗	小笠病院

②職業能力開発校への相談派遣事業

i) 相談派遣の実施

派遣先	頻度	派遣者
静岡県立あしたか職業訓練校	月1~2回	澤野文彦、水野拓二、山口雅弘

ii) 職員研修の実施

日時	派遣先	派遣者
2021年3月16日	静岡県立あしたか職業訓練校	澤野文彦

6. 体制整備

(1) 組織体制の見直し・強化

組織体制の再編について引き続き検討した。

分野ごとのワーキンググループを設置。課題の明確化を図り、より効率的に政策提言を行える体制整備を図ったが、感染症拡大の影響を受け十分な活動を行うことができなかった。

(2) 事務局体制の整備

静岡県総合社会福祉会館の事務局を週3日開局する体制を整備した。(月・水・金9時~13時)非常勤の事務局員を配置、協会運営に関わる事務作業を行っている。事務局閉局時は事務局長の所属先を対外的な窓口として対応している。

会計事務は会計ソフトを導入、事務処理の効率化を図った。また、税理士事務所と契約、税務に関わる指導・助言を受け体制を整備している。

会員管理の効率化については、引き続きの検討課題として残った。

(3) 意見集約の体制整備

職能団体として会員の声を集約できる体制づくりについて検討した。メール、メーリングリスト、ソーシャル・ネットワークング・サービス（SNS）等、活用できる媒体について検討した。

(4) 日本精神保健福祉士協会との連携

様々な機会で日本精神保健福祉士協会との連携促進を図った。

日本協会からの呼びかけに応じ、新生存権裁判の傍聴と活動報告を行った。

7. 災害対策

第2回全国災害対策委員講習会（主催：日本精神保健福祉士協会）へ委員を派遣し、日本精神保健福祉士協会との連携を図った。

8. 役員選出

2021年度及び2022年度役員選出のため、役員選出規程第8条に基づき選挙管理委員会を設置した

9. 委員等の派遣

委員名	氏名	所属
静岡県医療観察制度運営連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神医療審査会	川島 菜己	鷹岡病院
	田中佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	久野満津代	沼津中央病院
静岡県精神保健福祉審査会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
静岡県自立支援協議会地域移行定着部会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県自殺対策連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県人権会議	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神保健福祉協会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県健康福祉推進ネットワーク会議	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県日常生活自立支援事業契約締結審査会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県障害者介護給付費等不服審査会	牛島 聖美	公益財団法人復康会
地域福祉権利擁護事業運営適正化委員会	三谷美貴子	届け出なし
静岡県福祉サービス運営適正化委員会	三谷美貴子	届け出なし
静岡県アルコール健康障害対策連絡協議会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡県措置入院適正運営協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県救急医療システム連絡調整委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県依存症対策連絡協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
施設利用精神障害者自立促進事業審査委員	澤野 文彦	沼津中央病院
成年後見制度利用促進検討委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
成年後見制度理解促進ワーキング	山口 雅弘	鷹岡病院
静岡市精神保健福祉審査会	望月 信吾	溝口病院
静岡市精神医療審査会	伊藤 陽子	川口会病院
	大石 信弘	静岡まちども
	岩川 純子	特定非営利活動法人こころ
静岡市介護保険認定審査会	望月 信吾	溝口病院

	石割聖委子	さざ波てんかん神経クリニック
	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
	沼尻 武能	日本平病院
	廣澤千衣子	清水駿府病院
	石川 裕己	静岡市支援センターなごやか
	大鹿 愛子	特別養護老人ホームほたるの丘
	岩ヶ谷香織	清水駿府病院
静岡市障害支援区分認定審査会	大石 信弘	静岡まちとも
	田中佐代子	焼津病院
	田中 幸子	溝口病院
静岡市日常生活自立支援事業契約締結審査会	朝日 友紀	静岡市支援センターなごやか
静岡市地域包括支援センター運営協議会	興津奈緒美	静岡市暮らし・しごと相談支援センター
静岡市認知症初期集中支援チーム検討委員会	橋本 睦美	静岡てんかん・神経医療センター
静岡市障害者自立支援協議会地域移行支援部会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡市障害者自立支援協議会権利擁護虐待防止部会	興津奈緒美	静岡市暮らし・しごと相談支援センター
浜松市障害支援区分認定審査会	増田 喜信	三方原病院
	岸 直樹	だんだん
浜松市精神医療審査会	川嶋 章記	だんだん
	小山友理子	三方原病院
	山本恵理子	はまかぜ
浜松市社会福祉審議会	松本多加弘	ポコ・ア・ポコ
浜松市介護保険認定審査会	松本多加弘	ポコ・ア・ポコ
	大谷 晶子	せせらぎ
	瀧瀬 久仁	湖西市障がい者相談センターみなづき
浜松市日常生活自立支援事業契約締結審査会	加藤 寛盛	地域若者サポートステーションはままつ
浜松市精神保健福祉審議会	川嶋 章記	だんだん
御前崎市障害支援区分認定審査会	藤田 尚	菊川市立総合病院
掛川市障害支援区分認定審査会	平野慎一郎	小笠病院
	石神 泰登	菊川市立総合病院
	倉橋 真弓	Mネット東遠
藤枝市障害支援区分認定審査会	黒田 麻喜	暁
	渡邊 祐理	特定非営利活動法人こころ
牧之原市障害支援区分認定審査会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
	安達万里子	特定非営利活動法人こころ
島田市障害支援区分認定審査会	渡邊 里佳	特定非営利活動法人こころ
	八木 光春	Mネット東遠
農水省静岡地域センターメンタルヘルス相談員	大石 信弘	静岡まちとも
伊東市メンタルヘルス相談員	三谷美貴子	届け出なし
裾野市障害支援区分判定審査会	杉山 智子	就労支援事業所 かのん
富士宮市権利擁護ネットワーク会議	山口 雅弘	鷹岡病院

富士宮市成年後見制度体制整備検討会	山口 雅弘	鷹岡病院
富士市障害支援区分認定審査会	山口 雅弘	鷹岡病院
	渡辺 大	大富士病院
伊豆市・伊豆の国市障害支援区分等判定審査会	青木 大輔	田方・ゆめワーク
川根本町障害支援区分認定審査会	山城 厚生	特定非営利活動法人こころ
ふれあい福祉相談	大石 信弘	静岡まちとも
	勝又恵美子	届け出なし
3市1町成年後見運営委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
三島市成年後見制度利用促進連携協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
絆プロジェクト推進委員会	川嶋 章記	だんだん

10. 会員の動向

2021年4月1日現在 会員数467名

(1) 入会 12名

	氏名	所属機関
1	井木 克彦	医療法人社団宗美会 は一とばる
2	服部 千代	医療法人社団種光会 朝山病院地域包括ケア推進室
3	水谷 友香	医療法人社団種光会 朝山病院地域包括ケア推進室
4	植松 若菜	株式会社富士山ドリームビレッジ 就労移行富士山ドリームビレッジ
5	曾根 祥希	医療法人社団種光会 朝山病院地域包括ケア推進室
6	峯 千裕	医療法人社団至空会 多機能型事業所地域活動支援センターだんだん
7	綾部 友太	公益財団法人復康会 鷹岡病院社会復帰部医療相談課
8	渡辺 加奈子	社会福祉法人心愛志太 第三心愛
9	上原 慶子	社会福祉法人 宏寿会 古宇養護老人ホーム 遊法
10	島田 友香	社会福祉法人 熱海市社会福祉協議会
11	塩澤 里奈	医療法人社団リラ 溝口病院社会復帰部
12	大塚 昌己	沼津市自立相談支援センター

(2) 退会35名

	氏名	所属機関
1	植松 太郎	南富士病院
2	平野 潔	社会福祉法人Mネット東遠
3	廣瀬 幹雄	慈照園
4	川嶋 温香	榛原総合病院
5	山田 創	びあクリニック
6	小笠原 靖	社会福祉法人Mネット東遠
7	早坂 響子	
8	内山 祐太郎	(株) フリープラス
9	小澤 慎次	
10	青野 翔	医療法人社団澤記念会
11	内藤 治子	サポートセンターなかせ
12	権守 恭子	伊豆市天城湯ヶ島地区地域包括支援センター
13	鴨岡 久美子	
14	田島 友絵	
15	山田 州宏	
16	青木 絵里	サポートセンターひまり
17	小澤 崇代	
18	水田 智香子	
19	増田 真衣	小笠病院
20	本間 由紀子	さわや家
21	白輪 由起子	溝口病院
22	西脇 寿美恵	
23	池田 梓沙	
24	渡邊 詩織	生活支援センターいろいろ
25	水野 洋一	
26	植田 信江	社会福祉法人ひつじ
27	伊藤 基子	もくせい会浜松事業所
28	清水 美由紀	浜松市役所障害保健福祉課
29	齋藤 俊介	富士吉田診療所
30	岩淵 勝之	聖明病院
31	小澤 慎二	佐鳴湖病院
32	長山 祐輔	浜北さくら台病院
33	近藤 愛理	神経科浜松病院

(3) 訃報

氏名	備考
関 友三郎さん	2020年12月24日逝去 静岡県精神保健福祉士協会 第2代会長（1974年度～1976年度）
原田 正美さん	2021年2月8日逝去 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 監事 静岡県精神保健福祉士協会 第9代会長（2001年度～2008年度）

これまでの協会活動へのご尽力に深く感謝し、心よりご冥福をお祈り致します。

III 2020年度収支決算報告

2020年度収支決算について、第2期財務諸表（別紙）にて報告する。

IV 2020年会計監査報告

別紙にて報告

【第2号議案】2021年度及び2022年度役員選任に関する件

<提案趣旨>

現在の役員（理事、監事）の任期が2021年度定時総会終結の時までのため、定款及び役員選出規程に基づき、選挙管理委員会から提出された2021年度及び2022年度役員候補者名簿に掲載された役員候補者について、2021年度及び2022年度役員として選任するため。

<提案内容>

「2021年度及び2022年度役員候補者名簿」参照

【2021 年度及び 2022 年度役員候補者名簿】

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 選挙管理委員会

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会役員選出規程第 8 条 8 項により、役員候補者名簿を 2021 年度定時総会に提出する。

<理事立候補者>

(敬称略、ブロックごと五十音順)

ブロック	氏 名
東部 (定数 5 名)	久保田 絵美子
	澤野 文彦
	鈴木 伸二
	水野 拓二
	山口 雅弘
中部 (定数 7 名)	安達 万里子
	菅原 小夜子
	中村 倫也
	前林 勝弥
	望月 信吾
西部 (定数 8 名)	海野 洋一郎
	川嶋 章記
	増田 喜信

<理事会選出による監事候補者>

(敬称略、五十音順)

担当	氏 名
財務担当	藤田 尚
業務担当	三谷 美貴子

【報告事項1】2021年度事業計画及び収支予算に関する件

一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会 2021年度事業計画（案）

（自：2021年4月1日 至：2022年3月31日）

定款第3条の目的を達成するため、定款第4条に基づき、次の事業に取り組む。

I 2021年度活動指針

1. 一般社団法人静岡県精神保健福祉士協会活動指針

- （1）社会的責務を果たすことのできる人材育成を行い、会員の資質の向上を図る
- （2）精神障害者の社会的復権をめざし、誰もが安心して暮らすことができる地域をつくる
- （3）県民のこころの健康の増進を図る

2 重点課題

（1）人材育成

- ①人材育成の中核機能である研修体制について、より効果的、効率的に実施できる体制を再構築する。
- ・研修企画運営体制の再検討を図り、研修を実行する
 - ・実態把握のためのアンケートを実施する
 - ・オンラインで開催できるよう環境整備を図る

（2）政策提言

- ①分野ごとのワーキンググループを設置し、県及び政令市等に対し適時適切に施策提言を行う。
- ・ブロック活動からの意見集約
 - ・ワーキンググループの実施
 - ・ピアサポーターの養成に関すること
- ②日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力する。

（3）組織体制の強化

- ①「研鑽」「ネットワーク」「意見集約」を目的としたブロック活動に対し、ブロック協力員の役割の明確化を図り、各ブロックが地域性を活かしながら、効果的に機能するよう推進する。
- ・ブロック研修や地区での研修を実施する
 - ・ブロック内での様々な課題への意見集約を行う
- ②法人運営の安定化を図るため、事務局機能の強化及び収支バランスの適正化を目指す。
- ・規約整備を行う
 - ・事業受託できる体制の整備を行う
- ③日本精神保健福祉士協会との連携を一層強化し、2024年日本協会と県協会の入会を一本化とする。
- ・県協会のみ会員への呼びかけ（案内の送付等）
- ④情報発信
- ・つうしん、ホームページ等で情報発信を行い、当協会への理解促進及び会員への情報提供等の充実を目指す。
 - ・会員と一緒にできる情報発信の検討する（リレーエッセイ等）
 - ・メール一斉配信システムの検討やホームページの管理について検討し、できることを実行する

II 事業計画

1. 総会

日程	2021年5月30日(日)	場所	グランシップ 1001
内容	2020年度静岡県精神保健福祉士協会事業報告及び収支決算に関する件 2021年度事業計画に関する件、収支予算に関する件 役員選挙結果について 公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告		

2. 理事会、委員会等

(1) 理事会

理事会全4回、理事の会合3回程度、三役会複数回を予定。WEB会議等を活用する。

理事会予定 2021年5月、8月、11月、2022年3月

(2) 部・委員会・ワーキング(予定)

部・委員会		活動内容(予定)	
事務局 (理事会)	総務	会員管理、会計、委託事業の実施	
	広報	つうしん	「静岡PSW つうしん」編集作業(記事や内容の検討、校正作業等) 年4回発行予定。Web配信の検討。
		ホームページ等	ホームページの管理、情報更新、会員への情報発信体制の検討 リーフレットの改訂
		PSW研究	機関誌「静岡PSW研究」編集作業(録音、テープ起こし、校正作業等)、年1回発行予定
理事会	災害対策	発災時の安否確認の仕組みや、災害派遣等を含めた支援、受援の仕組みを含めた体制整備を検討し、研修会等を通じて会員への周知に努める	
	調査研究	社会的な課題に対する調査研究を行う。関係団体の委託研修事業などを想定する	
	Web環境整備	プロジェクトとして活動。web環境の整備を行う。	
	ピアサポーター養成研修	県・他団体と養成研修実施について検討する	
人材育成部	研修プロジェクト	2020年度のプロジェクトを再編し整理した課題から新たな研修運営体制ですすめていく。 研修企画運営・研修実施体制の検討・整備を行う	
	SV委員会	スーパービジョン体制の整備・検討	
地域体制整備部	相談ワーキング (ピアチーム含む)	静岡県の相談支援体制の現状を知り、課題を発見する。ピアとの協働を模索する	
	医療ワーキング (地域移行チーム含む)	精神科医療の課題やソーシャルワーカーのあり方について継続的に意見交換し整理していく	
	就労ワーキング	雇用ADの現状把握や就労に関する課題整理及び政策提言、雇用等に係る行政等との連絡会実施	

組織強化部	ブロック	ブロック活動の企画・実施
	関係団体連携	ソーシャルワーカー3団体連絡会議等、各種会議への参加 3団体合同での研修等の実施、ソーシャルアクション体制の整備・検討
権利擁護部	成年後見ワーキング	日本精神保健福祉士協会のクローバー、成年後見制度に関連する関係団体との連携を図り、精神保健福祉士が成年後見制度へ関与できる体制及び環境の検討

(3) ブロック活動（日程未定）

ブロック	活動内容
東部	協力員会議、まじめに勉強する会（隔月開催）、ブロック研修（web）、東部MSW・PSW合同研修等の企画実施
中部	静岡・志太榛原両地区において協力員会議の開催、静岡地区勉強会、志太榛原地区勉強会、地区合同研修等の企画実施。いずれもwebを活用する
西部	浜松、中東遠地区において協力員会議の開催、ブロック研修、浜松地区研修会、中東遠地区研修会の企画実施

3. 研修事業

(1) 基幹研修 I

日程	2021年11月	場所	未定
内容	講義（配信研修）、グループワーク（集合研修） 基幹研修 I は（公社）日本精神保健福祉士協会の委託事業として実施する ※状況に応じてすべてwebで開催となることもある		

(2) 全体研修

日程	2022年2月	場所	未定
内容	講義、グループワーク等 ※状況に応じてすべてwebで開催となることもある		

(3) 初任者向け配信研修・課題別研修等

※予定は別紙を参照のこと

(4) その他研修 必要に応じて開催

各ブロックや地区での研修を年1回は企画、実施する

4. 広報・出版活動

- (1) 静岡PSW研究 No32号の発行 今後の編集方法について検討する
- (2) 静岡PSWつうしん 年4回発行。会員と一緒にできる情報発信の検討する（リレーエッセイ等）
- (3) ホームページのシステム変更、管理、更新
- (4) リーフレットの改訂 法人化に伴いリーフレット改訂

5. 関係機関、関係団体との連携及び社会活動の実践

(1) 精神保健福祉士を養成する大学等との情報交換及び連携

(2) 各種機関・団体との情報交換及び連携

① ソーシャルワーク関係団体との連携

② 県弁護士会・司法書士会・法テラス静岡等との協力・連携

③ 行政機関との連携、意見交換

・ 静岡県自立支援協議会地域移行部会研修ワーキング・ピアワーキングへの参画等

・ 他意見交換や政策提言、要望等を行う

・ ピアサポーター養成研修について検討し行政、他団体と連携し次年度より同研修ができるようにする

(3) 講師の派遣等 研修会等の講師を派遣する

(4) 事業の受託及び事業への協力

① 静岡県障害者雇用企業支援事業への協力

② 職業能力開発校派遣事業への協力

③ 公的機関からの研修事業の受託

6. 体制整備

(1) 組織体制の強化

組織体制の整備を継続的に行い人材育成、課題の明確化を図り、より効率的に政策提言を行える体制整備を図る。

(2) 人材育成体制の見直し・強化

教育研修体制の見直しを図るために、昨年度のプロジェクトチームの再構築を行い研修体系の検討、研修企画運営を確実にできるようにする。

(3) ブロック活動の強化

「研鑽」「ネットワーク」「意見集約」としたブロック活動に対し、ブロック協力員の役割の明確化を図り、各ブロックが地域性を活かしながら、効果的に機能するよう推進する。

具体的にはブロック研修および地区研修の web 研修を含めての実施や精神保健福祉領域の課題になることを意見集約する。

(4) 意見集約の体制整備

職能団体として会員の声を集約できる体制づくりについて引き続き検討する。メール、メーリングリスト、ソーシャル・ネットワーク・サービス (SNS) 等、活用できる媒体を整え、協会の情報発信と意見集約の体制を整える。

(5) 日本精神保健福祉士協会との連携

日本精神保健福祉士協会から要請のあるソーシャルアクションに積極的に協力し、職能団体として社会的使命を果たせる体制を作る。

当協会の正会員は日本精神保健福祉士協会に入会している事を条件とする、いわゆる「1本化」を2019年度の総会で可決しており、移行期間である本年度も積極的に日本精神保健福祉士協会未入会者に働きかけを行う。現会員には2024年度までの移行期間内に日本精神保健福祉士協会へ入会し、正会員へ移行してもらえよう周知する。

(6) 事務局体制の整備

法人運営の安定化を図るため、事務局機能の強化及び収支バランスの適正化を目指す。また規約の整備や行政などからの事業受託できる体制整備を行う

(7) web 環境の整備

情報発信や会議、研修、動画作成等を実施するために、web環境を再構築する必要があり、プロジェクトチームを立ち上げ、必要な機材やweb環境の整備を行う。ホームページのシステム変更や会員へのメール一斉配信システムを導入する。

7. 災害対策

日本精神保健福祉士協会の災害対策研修、会議等へ担当者を派遣し、日本精神保健福祉士協会との連携を図る。

災害時の安否確認の仕組みとしてSNSの活用を含め検討する。

日本精神保健福祉士協会のガイドライン等を参考に、災害派遣等を含めた支援、被災時の受援を想定した仕組みも含めた体制整備を検討し、研修等を実施し周知に努める。

8. 会費納入方法の変更

2022年度より会費の納入方法を原則銀行引き落としとする。

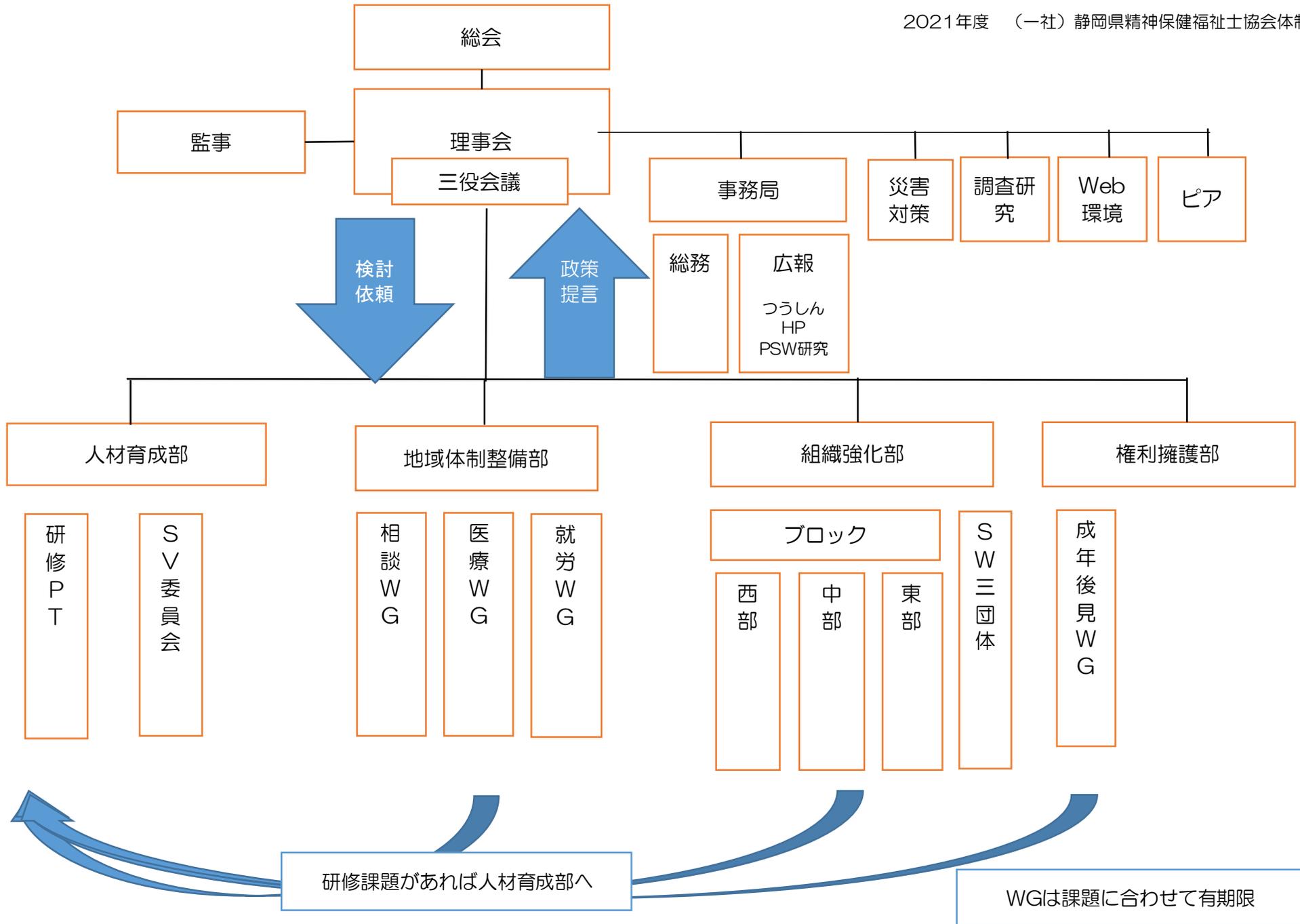
本年度より銀行引き落としの書類を会員に配布、2021年度から引き落としを開始、2024年度までに手続きを終了し、2025年度から全会員、会費は銀行引き落としとする。

移行期間である今年度より、会費納入は全て銀行振り込みとする。よって、手渡しでの会費納入は行わないこととする。

9. 委員等の派遣等

委員会名	氏名	所属
静岡県精神保健福祉審議会	渡邊 里佳	特定非営利法人こころ
精神科救急医療システム連絡調整委員会	澤野 文彦	沼津中央病院
措置入院適正運営協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
静岡県精神医療審査会	川島 茉巳	鷹岡病院
	田中 佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	久野 満津代	沼津中央病院
静岡県アルコール健康障害対策連絡会議	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
静岡市精神保健福祉審議会	望月 信吾	溝口病院
静岡市精神医療審査会	伊藤 陽子	社会福祉法人ひつじ えひめ
	橋本 睦美	静岡てんかん・神経医療センター
	岩川 純子	特定非営利法人こころ
静岡市障害支援区分認定等審査会	田中 佐代子	静岡てんかん・神経医療センター
	平野 真子	静岡県立こころの医療センター
	田中 幸子	グリーンワークスリラ
静岡市認知症初期集中支援チーム検討会	望月 信吾	溝口病院
静岡市地域包括支援センター運営協議会	望月 信吾	溝口病院
浜松市障害支援区分審査会	岸 直樹	至空会浜松市障がい者基幹相談支援センター
	大場 拓弥	三方原病院
浜松市介護認定審査会	大谷晶子	地域生活支援センターせせらぎ
	本永 栞	神経科浜松病院
	瀧内 久仁	浜松市障がい者相談支援センターみなづき

三島市成年後見制度利用促進連携協議会	澤野 文彦	沼津中央病院
富士宮市成年後見制度体制整備検討会	山口 雅弘	鷹岡病院
藤枝市障害支援認定審査会	渡邊 祐里	NPO 法人こころ
藤枝市障害支援認定審査会	鵜 領太郎	地域生活支援センターせせらぎ
島田市障害支援区分認定等審査会	渡邊 里佳	特定非営利法人こころ
	八木 光春	M ネット東遠
掛川市障害支援区分認定等審査会	倉橋 真弓	地域生活支援センターM ネット
	平野 慎一朗	小笠病院
	石神 裕子	菊川市立総合病院
川根本町障害支援区分認定審査会	坪井 明日香	特定非営利法人こころ
静岡県社協 福祉サービス運営適正化委員会	三谷 美貴子	
静岡県社協 日常生活自立支援事業 契約締結審査会	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
浜松市社協 日常生活自立支援事業 契約締結審査会	浅野 輔	三方原病院
牧之原市 障害支援区分審査会	菅原 小夜子	特定非営利法人こころ
	安達 万里子	特定非営利法人こころ



Ⅲ 2021（令和3）年度収支予算に関する件

収支予算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

（単位：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①会費収入				
正会員会費収入	3,269,000	3,697,000	△ 428,000	当年度7,000円×467名
入会金収入	20,000	200,000	△ 180,000	1,000円×20名
会費収入計	3,289,000	3,897,000	△ 608,000	
②事業収入				
委託事業	3,290,000	987,000	2,303,000	県からの委託事業等
研修事業	220,000	475,000	△ 255,000	
その他の収入	0	200,000	△ 200,000	前年度実績による
事業収入計	3,510,000	1,662,000	1,848,000	
③補助金等収入				
支部活動協力費収入	458,140	406,500	51,640	前年度実績による
補助金等収入計	458,140	406,500	51,640	
④雑収入				
受取利息収入	20	0	20	預金利息
雑収入	10,000	4,388	5,612	
雑収入計	10,020	4,388	5,632	
事業活動収入合計	7,267,160	5,969,888	1,297,272	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
給料手当支出	200,000	0	200,000	研修講師等
会議費支出		540,000	△ 540,000	
旅費交通費支出	300,000	0	300,000	研修講師交通費等
通信運搬費支出	100,000	0	100,000	
消耗品費支出	700,000	0	700,000	WEB配信用機材等
印刷製本費支出	300,000	960,000	△ 660,000	総会資料、つうしん、静岡PSW研究等
賃借料支出	200,000	0	200,000	会場使用料等
諸謝金支出	200,000	0	200,000	外部委託謝金等(ホームページ等)
雑支出	500,000	0	500,000	
研修事業費支出		1,200,000	△ 1,200,000	—
委託費支出		987,000	△ 987,000	—
事業費支出計	2,500,000	3,687,000	1,187,000	

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
②管理費支出				
給料手当支出	800,000	1,000,000	△ 200,000	事務局員給与
法定福利費支出	3,000	0	3,000	労働保険料
交際費支出	30,000	20,000	10,000	
旅費交通費支出	240,000	50,000	190,000	交通費、通勤費等
通信運搬費支出	1,160,000	510,000	650,000	電話代、郵送料、WEBシステム使用料等
消耗品費支出	120,000	600,000	△ 480,000	事務局消耗品、備品等
修繕費支出	50,000	0	50,000	
印刷製本費支出	350,000	300,000	50,000	
光熱水料費支出	66,000	66,000	0	シス ^テ ル ^ル 共益費
貸借料支出	5,000	0	5,000	
租税公課支出	71,000	0	71,000	法人県市民税均等割
諸会費支出	30,000	20,000	10,000	
雑支出	310,000	320,000	△ 10,000	税理士報酬、振込手数料等
管理費支出計	3,235,000	2,886,000	349,000	
事業活動支出合計	5,735,000	6,573,000	△ 838,000	
事業活動収支差額	1,532,160	△ 603,112	2,135,272	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入合計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
投資活動支出合計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入合計	0	0	0	
2. 財務活動支出				
財務活動支出合計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	790,000	217,000	573,000	
	790,000	217,000	573,000	
当期収支差額	742,160	△ 820,112	1,562,272	
前期繰越収支差額	1,506,332	1,506,332	0	
次期繰越収支差額	2,248,492	686,220	1,562,272	

ただし、科目間の流用を認める

【報告事項2】2020年度公益社団法人日本精神保健福祉士協会支部活動報告及び2021年度支部活動予定

1. 2020年度活動報告

(1) 定時総会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面開催とした。

内 容：静岡県支部の2019年度活動報告及び会議等報告、2020年度活動計画

支部長会議・ブロック会議からの報告

日本精神保健福祉士協会2020年度事業計画、予算、代議員選挙報告等

(2) 2020年度 委員等の派遣（所属は派遣当時の所属）

役 職	氏 名	所 属
業務執行理事・第3副会長 権利擁護部 担当副会長 災害支援体制整備委員会 東日本大震災復興支援委員会 精神保健医療福祉ビジョン策定委員会 分野別プロジェクト「認知症」	水野 拓二	鷹岡病院
精神医療・権利擁護委員会	増田 喜信	三方原病院
代議員	望月 信吾	溝口病院
	平野慎一郎	小笠病院
精神保健福祉士の資質向上推進委員会	川島 菜己	鷹岡病院
クローバー運営委員会	山口 雅弘	鷹岡病院
研修企画運営委員会	水野 恵	コーポ狩野
倫理委員会	菅原小夜子	特定非営利活動法人こころ
分野別プロジェクト「診療報酬」	澤野 文彦	沼津中央病院
分野別プロジェクト「認知症」	新田 怜小	サポートセンターほっと
災害対策委員	中村 倫也	静岡県立こころの医療センター
	丸山祐貴子	鷹岡病院
	小山友理子	三方原病院

(3) 日本精神保健福祉士協会理事会・支部長会議・ブロック会議等への出席

会議	参加予定者	日程
定時総会	代議員 望月信吾、平野慎一郎 理事 水野拓二、増田喜信	2020年6月21日
通常理事会	水野拓二	第1回2020年7月18日・19日（WEB） 第2回2020年11月21日・22日（WEB） 第3回2021年3月6日・7日（WEB）
理事による会合	水野拓二	2020年8月29日～30日（WEB）、10月24日～25日（WEB）、 12月12日（WEB）、12月19日～20日（WEB） 2021年1月16日～17日（WEB）、2月13日～14日（WEB）
正副会長会	水野拓二	理事会及び理事の会合に合わせて開催

都道府県支部長会議	2020年4月19日（中止）	
委員長会議	水野拓二、澤野文彦	第1回 2020年7月19日（WEB） 第2回 2021年2月14日（WEB）
ブロック会議	水野拓二、澤野文彦、 望月信吾、平野慎一郎 水野 恵	第1回 2020年9月27日（WEB） 第2回 2021年2月7日（WEB）

(4) 基幹研修 I

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止

2. 2021年度活動予定

(1) 定時総会の開催

日 程：2021年5月30日（日）

場 所：グランシップ（静岡市）

内 容：支部規約の変更に関する件、2021年度及び2022年度役員（案）

2020年度活動報告及び会議等報告、2021年度活動計画

理事会からの報告、支部長会議・ブロック会議からの報告等

(2) 研修会への参加、協力

①第56回公益社団法人日本精神保健福祉士協会全国大会（北海道大会）への参加

日時：2021年9月10日（金）～11日（土） *9月9日（木）午後にはプレ企画を開催

場所：札幌コンベンションセンター

②認定SVR養成研修

日程、参加者等未定 養成者の派遣

③基幹研修 I（県初任者研修会と合同開催）

日程：未定 場所：未定（一部WEBでの実施も検討） 内容：講義等

(3) 意見集約と情報提供の仕組みづくり

代議員に意見が集約されない課題や日本協会からの情報提供を支部構成員へできていない課題に対し、静岡県精神保健福祉士協会と一緒に意見集約と情報提供の仕組みづくりについて引き続き検討、実行する。

(4) 日本精神保健福祉士協会理事会・支部長会議・ブロック会議等への出席

会議	参加予定者	日程
定時総会	代議員 望月信吾、平野慎一郎 理事 水野拓二	2021年6月20日
通常理事会	水野拓二	第1回 2021年6月19日、20日 第2回 2021年11月20日・21日 第3回 2022年3月12日・13日
理事による会合	水野拓二	2021年4月17日・18日、5月15日・16日 7月17日・18日、9月25日・26日 10月16日・17日、12月18日・19日 2022年1月22日・23日、2月19日・20日
正副会長会	水野拓二	理事会及び理事の会合に合わせて開催

都道府県支部長会議	水野拓二、支部長	2021年4月18日
委員長会議	澤野文彦、水野拓二	第1回 2021年7月18日 第2回 2022年2月20日
ブロック会議	支部長、水野拓二 望月信吾、平野慎一郎 水野 恵	第1回 2021年9月26日 第2回 2022年2月6日

*対面とWEB会議システムを併用あるいはWEB会議システムのみで開催する。